

最終試験結果の要旨

学位申請者 氏名	前田 藍
審査委員	主査 琉球大学 教授 内藤 重之
	副査 琉球大学 准教授 杉村 泰彦
	副査 鹿児島大学 教授 豊 智行
	副査 琉球大学 教授 大田 伊久雄
	副査 鹿児島大学 准教授 坂井 教郎
審査協力者	印
実施年月日	令和元年7月31日

試験方法 (該当のものを○で囲むこと。)

口答 筆答

主査及び副査は、令和元年7月31日の公開審査会において学位申請者に対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。

以上の結果から、審査委員会は申請者が博士(農学)の学位を受けるに必要な十分の学力ならびに識見を有すると認めた。

学位申請者
氏 名

前田 藍

[質問 1] 本研究の背景のところで、農家数が減少し、分散していることを問題視していたが、農家数が多い時よりも減少した方が営農指導員は指導しやすいのではないか。

[回答 1] 以前は同質性の高い地縁関係をベースに共販ができていたが、農家数の減少によって現在はそれが崩れ、農家が広域に分散する中で、技術を平準化して共販を行わなければならない、営農指導員数も減っているため、農協などの集出荷団体は以前とは異なる対応が必要となっている。

[質問 2] 沖縄県における小ギクの主な集出荷団体として、沖縄県花卉園芸農協だけでなく、総合農協である J A おきなわもあるが、前者のみを取り上げたのはなぜか。

[回答 2] 生産者が広域に分散する中で、いかに技術を平準化し、均質な荷を安定的に供給するかが園芸産地の課題となっており、設立当初から組合員が広域に分散する中で共販に取り組み、安定供給を実現してきた花卉園芸農協の方が事例対象として適していると考えられるためである。

[質問 3] 沖縄県のキク産業に関する論考である比嘉 (2002) を既存研究の整理に含めなかったのはなぜか。

[回答 3] 比嘉 (2002) は小ギクが小売業者主導によってサプライチェーンが構築される前の 1990 年代初頭までを分析対象としているのみならず、沖縄県におけるキク産業の成長過程を産業組織論の視点から分析した論考であり、安定生産・供給システムについて分析したものではないためである。

[質問 4] 沖縄県花卉園芸農協が年末と春の彼岸の物日に荷を集めるためにプール計算の期間を通常よりも長い 10 日間に行っているが、10 日間にする理由はなぜか。

[回答 4] 物日需要期は通常よりもかなり高値となるが、その期間が約 10 日間であるため、その期間に集中的に組合員に出荷してもらうために、10 日間に設定している。

[質問 5] 沖縄県花卉園芸農協ではプール計算はその期間中に出荷されたすべての小ギクの売上をプールして精算しているのか。

[回答 5] 期間中に出荷された小ギクの売上を品種別・等階級別にプール計算している。

[質問 6] 品種別にプール計算をするのであれば、生産者は単価の高い品種ばかりを生産し、赤・白・黄の 3 色をバランスよく供給するのは困難だと考えられるが、農協はどのように指導し、調整しているのか。

[回答 6] 3 色のバランスが崩れると取引価格が暴落し、大規模生産者ほど大きな影響を受

けることから、大規模生産者を中心に作付の変更を依頼して調整している。

[質問7] 市町村別に小ギク生産者の分布を示した図で石垣島に生産者がいるが、沖縄県花卉園芸農協の支部組織別組合員数の表では石垣支部が0となっているのはなぜか。

[回答7] 図は沖縄県の統計によるものであり、これによると、石垣市には小ギクを生産しているが、沖縄県花卉園芸農協の石垣支部には小ギクを生産する組合員がいないため、0となっている。ただし、小ギク以外の品目を生産する組合員がいるので、石垣支部が組織されている。

[質問8] 小ギクは周年的に需要があるが、沖縄県ではなぜ12月と3月を中心とする冬春季のみ集中的に出荷しているのか。

[回答8] 本土復帰以降、野菜も含めて沖縄県の園芸産地は台風被害を回避しつつ、冬季温暖な気候を生かして本土の端境期に出荷できるように生産している場合が多く、小ギクも同様である。

[質問9] 「東京都中央卸売市場へは全体の25%を出荷」とあるが、これは何のことか。

[回答9] 沖縄県花卉園芸農協の小ギク出荷量全体に占める東京都中央卸売市場へのお荷割合のことである。

[質問10] 集出荷システムに関して東京市場へのお荷のみを対象としたのはなぜか。

[回答10] 沖縄県花卉園芸農協は全国の70市場へお荷しており、その全体を対象とすると煩雑になるため、モデル化しやすいように主要なお荷先である東京市場のみとした。なお、地方都市の卸売市場の中には生産量がお変動した場合のバッファとしてお荷する市場もあり、これらを取り上げると調査先に迷惑がかかる可能性があることも理由の一つである。

[質問11] 船舶輸送の導入により輸送費が低減しているとのことであるが、詳細に収益性の分析がなされていないのはなぜか。

[回答11] 沖縄県花卉園芸農協はそれぞれ複数の航空会社、海運会社とお荷しているが、実際の契約金額を示すと安値でお荷している会社からお荷金額の見直しをお荷られるお荷があるため、おおよその金額しかお荷提示してもらえず、詳細な分析ができなかったためである。

[質問12] この事例では小ギクのお荷形態に合わせて赤・白・黄の3色をバランスよくお荷できている点を強調していたが、今後園芸産地は複数の品目やお荷品種を組み合わせてお荷していくべきなのか。

[回答12] 品揃えは卸売市場の重要な機能の一つであるが、産地の集出荷団体はそれを取りお荷込むことで量販店などへの有利お荷販売に結びつけることができるとお荷えられる。